

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED FAX、トナー、レジン、感光体、エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2021. 2



インド・Pantum (A4/カラー) CP1100



欧・HP (A4/モノクロ) LaserJet Enterprise M406dn



キヤノン(A3+/カラー) imagePRESS C170



米・シャープ (A4/モノクロ) MX-B467F



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

「その他情報」より抜粋

■その他情報■

○トナーリコー 1

リコーは、2月3日、カラープロダクションプリンタ「RICOH Pro C7210S/C7200S」の特色対応を強化し、「RICOH Pro トナー ゴールド C7200」「RICOH Pro トナー シルバー C7200」（価格：52,500円、消費税別）の発売を開始した。



<ゴールド



< (左)

今回、新たに追加する印刷物へのアイキャッチャ、イエロー、ブラック、ラックカラーの表現が可能。同社によれば、ゴールド維持するため板状金属系外部購入品かは明らかと

「実販情報」より抜粋

■実販情報■

F-カラーMFP (A3+) - ココカミノルター 1

ココカミノルタのカラー最高速複合機は、iシリーズ(bizhub 第二世代)として、2020年8月に初出。販売台数は苦戦している。

機種名	スピード (ppm)	期間	全世界の出荷台数 (台)		
			国内	海外	合計
bizhub C750i/ C750i Premium					

<機種概要>

bizhub 第二世代、(C70ppm/M75ppm)で「Premium」は、コストに加え、企業内印刷まで

商品の特徴は、操作向上、クラウド接続に豊富な給排紙オプション。モバイル連携など充実しており、特に、サー(最適印刷条件設定)、未然に故障を防ぐ。機能を提供している。また、無線LAN対応サービスも用意されて価格は、390万円〜

<販売台数>

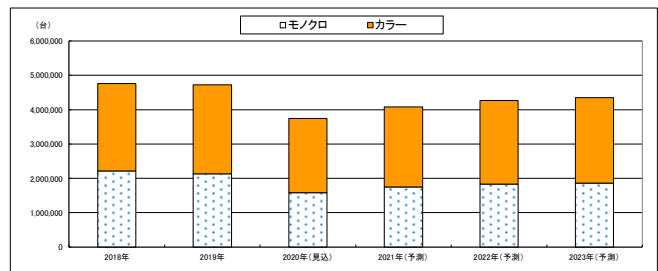
iシリーズは、C45 C750i/C750i Premium (現時点では、主に日販売台数は、上述のよ

【特集】「全世界のMFP (複写機・複合機) 出荷動向」より抜粋

1. MFP (複写機・複合機) の全体出荷動向

1) 全世界における出荷台数

	2018年		2019年		2020年 (見込)		2021年 (予測)		2022年 (予測)		2023年 (予測)	
	台数	%	台数	%	台数	%	台数	%	台数	%	台数	%
モノクロ	2,217,935	46.6	2,129,550	45.1	1,584,115	42.3	1,754,140	43.0	1,836,880	43.1	1,865,470	42.8
対前年比	-	-	96.0	-	74.4	-	110.7	-	104.7	-	101.6	-
カラー	2,546,159	53.4	2,590,839	54.9	2,158,069	57.7	2,324,140	57.0	2,429,939	56.9	2,490,889	57.2
対前年比	-	-	101.8	-	83.3	-	107.7	-	104.5	-	102.5	-
合計	4,764,095	100.0	4,720,389	100.0	3,742,175	100.0	4,078,280	100.0	4,266,270	100.0	4,355,550	100.0
対前年比	-	-	99.1	-	79.3	-	109.9	-	101.6	-	102.1	-



MFP (複写機・複合機) の出荷台数は、ここ数年、年 470 万台前後で推移してきたが、コロナ禍に見舞われた 2020 年は 3 月頃から 6 月頃まで欧米市場で商談が止まり、設置業務もままならなくなった。このため、同年の MFP の出荷台数は対前年比 79.3% の約 374 万台 (モノクロ MFP: 約 158 万台、カラー MFP: 約 216 万台) と前年から 100 万台近くの大減となった。

MFP 業界はもともとあったペーパーレス化の流れにテレワーク拡大の動きが加わったことで、大きな逆風にさらされたが、2020 年後半から 2021 年前半にかけては想定以上に需要が回復してきており、現状は MFP ビジネスの底堅さを示す状況ともなっている。今後、コロナ前のレベルに回復していくかは未だ不透明であるが、少なくとも当面は一定レベルの需要が維持され、このまま一気に市場が縮小するような状況ではなさそうだ。

もっとも、業界全体のプリント需要が頭打ちの状況にあることは変わりなく、プリントだけに頼らないサービス中心の事業構造へのシフトと企業再編などによる業界構造の変革が不可避であることは間違いない。

※上記の MFP は複写機ベースの複合機のみ。プリンタベースの低価格複合機は含まず。以下の頁でも同様。

「その他情報」より抜粋

〇ー資金提供ー米ゼロックス/レックスマークー1

米ゼロックスは、2月17日、ファイナンスのニュー事業であるゼロックス・ファイナンス・サービス（XFS）を通じて、外部の機器メーカーとして初の顧客となるレックス

のニーズ対策として事業者の意味)にもド・プリント・サー
XFSは、ゼロックスより、今回はその範囲者が販売するソフトウェアストップで資金(XBS)や外部のマル
XFSは、簡素化したものの提供に加工プロセス自動化技術のスムーズな顧客体験
過去に米ゼロックスが同事業の指揮を執るというものであり
今回の契約は、米
した中国企業グループとの関係性は深化し
(具体的には、レックスとレックスマックスマーク側から携
扱拡大は理にかな

「新製品及び消耗品情報」【インド】<オフィス向け>より抜粋

【インド】

<オフィス向け>

N-カラープリンタ (A4) - インド・Pantum - 1

機種名	CP1100			
価格	n/a (4~5万円と推定)			
発売年月	2021年2月			
最大出力サイズ	A4			
スピード	カラー・モノクロとも 18枚/分(A4)			
複合状況	コピー	プリンタ	FAX	スキャナ
	※	○	※	※
販売目標台数	n/a			



【製品ラインアップと主な仕様】

CP1100	
スピード	カラー・
解像度	600×600
ファーストプリント	モノクロ
用紙サイズ	A6~A4
給紙枚数	250枚
排紙枚数	100枚
メモリー	1GB
サイズ(W×D×H)	401×41
重量	16.3kg

【エンジン部】

帯電	ローラー
露光	レーザー
現像	非磁性
転写/中間転写	ローラー

【トナー/感光体】

トナー	メーカー
	製法/成分
感光体	メーカー
	材料と形状

【主な特徴】

インド・Pantumは、2021年2月に発表した。自社開発エンジンと、レックスマークの既存エンジンとを組み合わせ、中国以外、インド、ロシア、アジア

「新製品及び消耗品情報」【国内】<プロ/業務向け>より抜粋

<プロ/業務向け>

N-カラープロダクションプリンタ (A3+) - キヤノン - 1

商品名	imagePRESS C170			
標準価格	420万円			
発売年月	2021年2月10日			
出力サイズ	A3+			
スピード	カラー70、モノクロ80枚/分(A4)			
複合状況	コピー	プリンタ	FAX	スキャナ
	○	○	※	○
目標販売台数 (全世界)	(概算推定) 2,000~3,000台/年			



【位置付け】

新規	「imagePRESS C170」は、カラープロダクションプリンタのエンタープライズ機「imagePRESS C165」(2019年10月発売、320万円、カラー・モノクロとも65ppm)の上位モデルとしてラインアップに追加された。
後継	エンジンにはオフィス向けカラーMFPのiR-ADV C7000系エンジンを転用した。C165と比較して印刷スピードが向上した他、これまで上位プロダクションプリンタ機にしか装着できなかった100枚ステイブル、中綴じ最大25枚、外三つ折り、四つ折りなどのオプションが新たに装備できるようになった。また、最長1,300mmまでの長尺紙に対応しているため様々な成果物を印刷できる。
その他	
OEM受	

【販売ターゲット】

ターゲット POPやポスター印刷用として店舗や一般企業などに拡販

【製品ラインアップと適合機】 ※はオプション

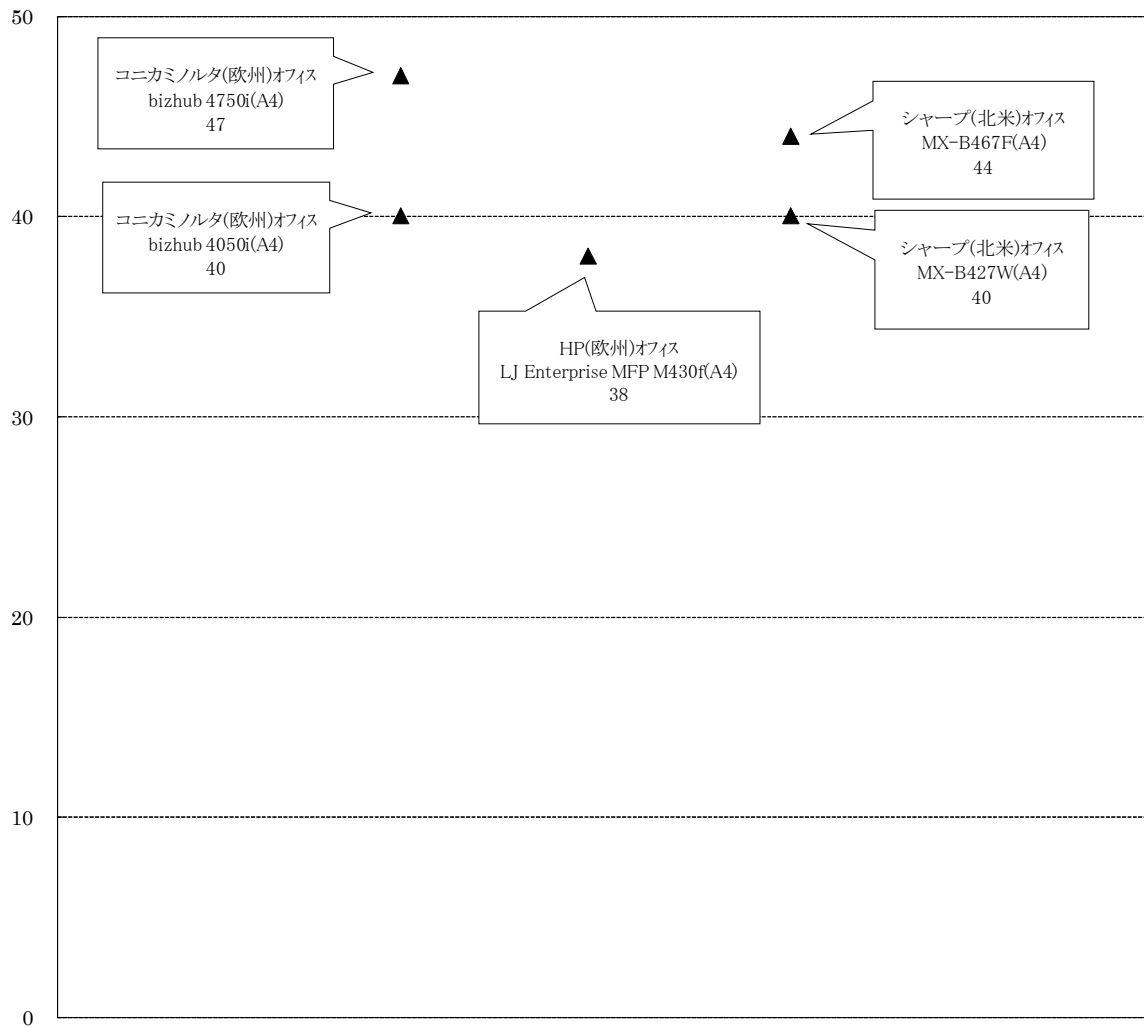
機種名	発売日	価格	出力 (シート/分)	コピー	プリンタ	FAX	スキャナ
imagePRESS C170	21.2	420万円	C70/M80	○	○	※	○
適合機	富士ゼロックス 「Versant 180i Press」	20.10	875万円	C80/M80	○	○	×
	リコー 「RICOH Pro C5310s」	20.6	630万円	C80/M80	○	○	※
	コニカミノルタ 「AccurioPress C4070」	20.8.23	605万円	C71/M71	○	※	×

2021. 2 Executive Summary

[今月の新製品]

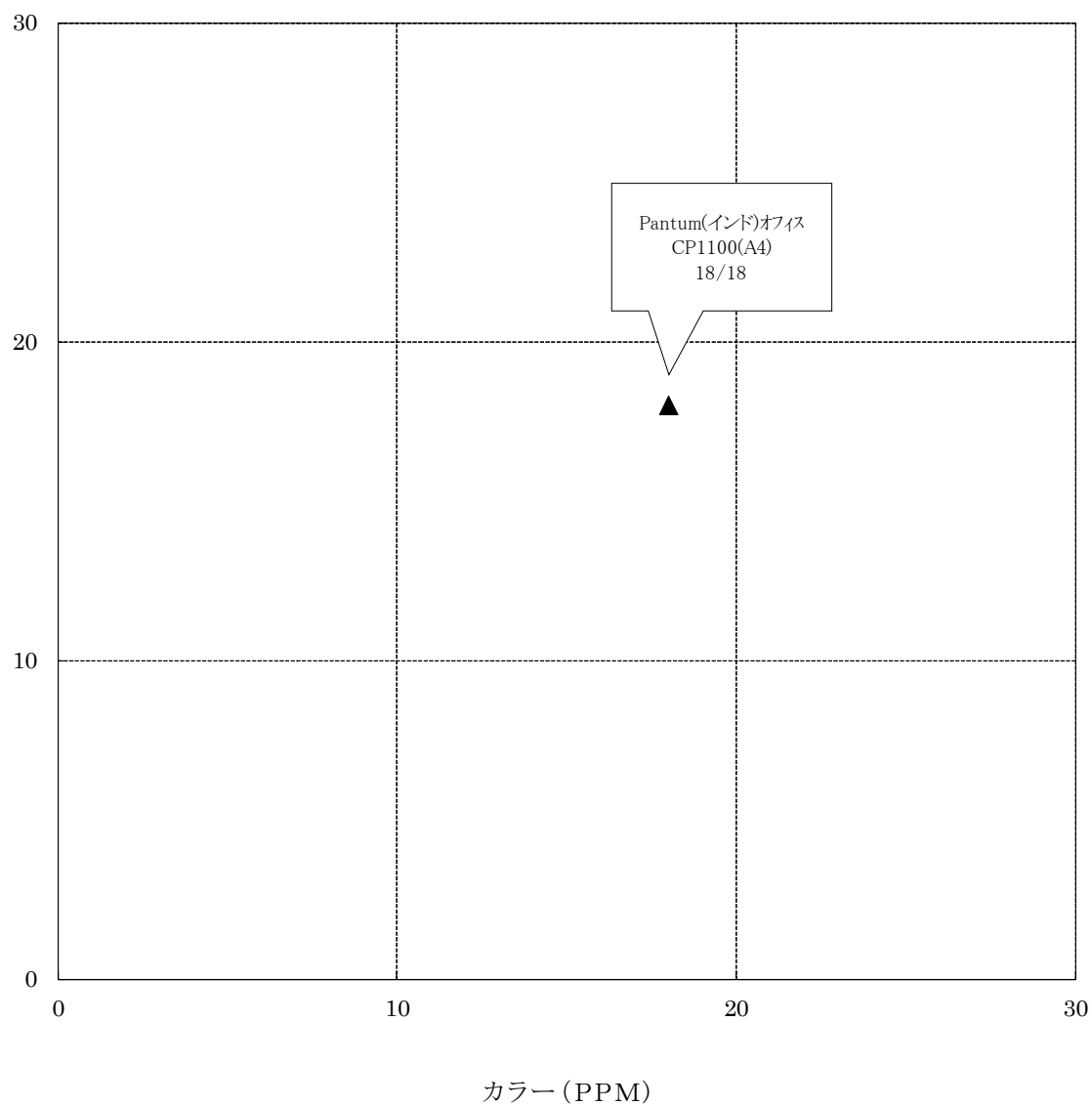
1. モノクロ MFP (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



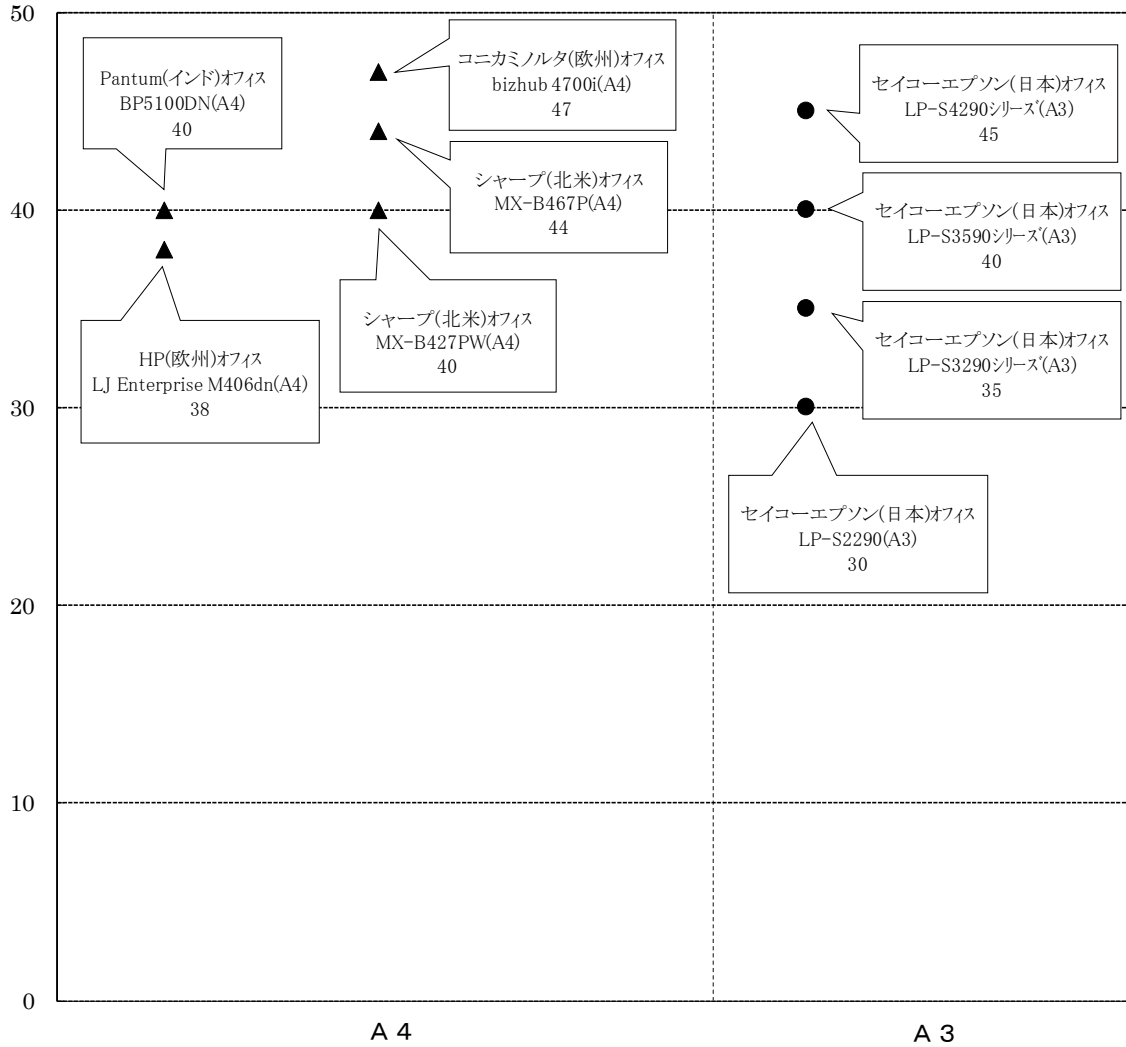
2. カラープリンタ (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



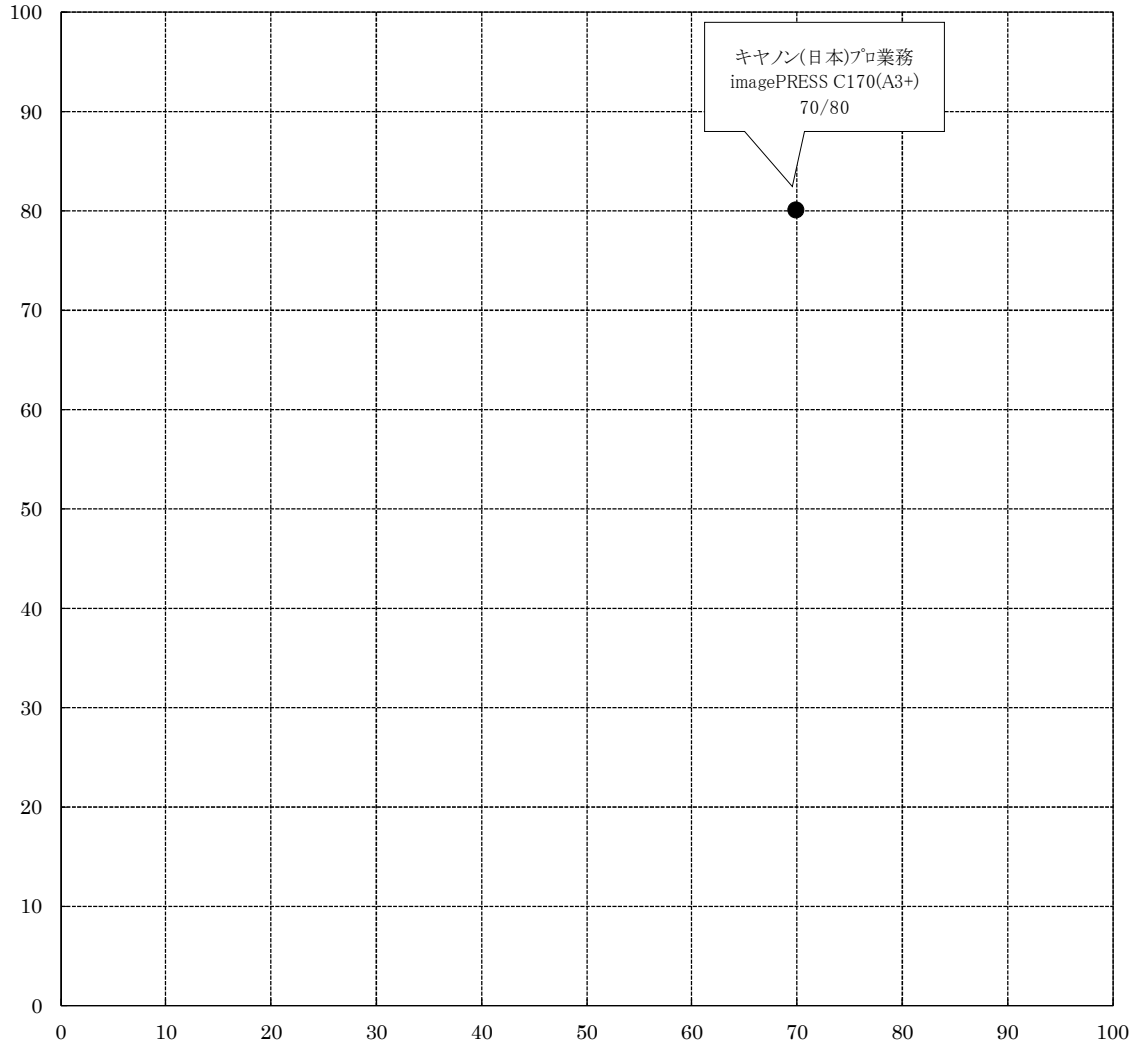
3. モノクロプリンタ (A3・A3+・・・●、A4・・・▲)

モノクロ(PPM)



4. カラープロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

2021年2月号目次

■ 特集 ■

特集－全世界のMFP（複写機・複合機）出荷動向	1
1. MFP（複写機・複合機）の全体出荷動向	2
1) 全世界における出荷台数	2
2) サイズ別出荷台数	2
3) 地域別出荷台数	2
4) スピード別出荷台数（2020年）	2
2. エンジンメーカーシェア（2020年→2023年）	7
1) A3+A4	7
2) A3	7
3) A4	7
3. 各社の個別状況	10
[1]キヤノン	10
[2]リコー	10
[3]富士ゼロックス	10
[4]コニカミノルタ	10
[5]シャープ	10
[6]京セラドキュメントソリューションズ	10
[7]東芝テック	10
[8]HP Printing Korea	10
[9]米ゼロックス	10
[10]その他	10

■ 実販情報 ■

FカラーMFP（A3+）－コニカミノルタ－1 （bizhub C750i/C750i Premium）	15
FカラーMFP（A3+）－京セラドキュメントソリューションズ－1 （TASKalfa 7353ci/8353ci）	16
FカラーMFP（A3）－OKIデータ－1 （ES9476 MFP）	17
FカラーMFP（A3+）－東芝テック－1 （e-STUDIO 7516AC/ACT/ACTG）	18

■ 新製品及び消耗品情報 ■
〔国内〕
<オフィス向け>

Nモノクロプリンタ（A3）－セイコーエプソン－1 （LP-S4290シリーズ/S3590シリーズ/S3290シリーズ/S2290）	19
--	----

<プロ／業務向け>

Nカラープロダクシオンプリンタ（A3+）－キヤノン－1 （imagePRESS C170）	27
--	----

〔北米〕
<オフィス向け>

NモノクロMFP／プリンタ（A4）－米・シャープ－1 （MX-B467F/B467P/B427W/B427PW）	35
---	----

〔欧州〕
<オフィス向け>

NモノクロMFP／プリンタ（A4）－欧・コニカミノルタ－1 （bizhub 4750i/4700i/4050i）	41
---	----

Nモノクロプリンタ／MFP（A4）－欧・HP－1 （HP LaserJet Enterprise M406dn/MFP M430f）	47
---	----

〔インド〕

<オフィス向け>

N-カラープリンタ (A4) -インド・Pantum-1 54
(CP1100)

N-モノクロプリンタ (A4) -インド・Pantum-2 55
(BP5100DN)

■生産情報■

P-感光体-キヤノン-1 56
(感光体生産量が顕著な減少傾向)

■その他情報■

O-トナー-リコー-1 57
(ゴールドトナー・シルバートナーの発売を開始)

O-再生トナーカートリッジ-レーザーテック-1 58
(レーザーテックが破産申請)

O-カラープリンター-OKI-データ-2 59
(A4カラーLEDプリンタ/複合機の6モデルの販売終了)

O-再生複合機-キヤノン-2 60
(再生複合機の新製品をラインアップに追加)

O-産業用インクジェット-コニカミノルタ-1 61
(段ボール用デジタルインクジェット印刷機「PKG-675i」の発売開始)

O-産業用インクジェット-リコー-2 62
(トランザクション市場向け「RICOH Pro VC40000」の発売開始)

O-M&A-米ゼロックス/CareAR-1 64
(米ゼロックスがCareAR社を買収)

O-資金提供-米ゼロックス/レックスマーク-1 65
(米ゼロックスがレックスマークのMPSに資金を提供)

O-決算-複写機・プリンタメーカー-1 66
(複写機・プリンタ国内各社が2020年度業績見通しを発表)

O-業界関連情報-各社-2 77
富士ゼロックスが複合機・プリンタの新機種3製品にイーソルのリアルタイムOSを採用/SCREEN GAが自社カタログのジャスト・イン・タイム生産を実現/コニカミノルタがプロフェッショナル向けデジタル印刷機において1to1印刷の自動検査機能を充実/キヤノンがプロダクションプリンタの新ユニットを発売/米ゼロックスが組織変更を発表/NinestarがPantumを完全子会社化/Eleanのサブスクリプションサービスがアップグレード/エレファンテックがFPCの大型量産実証拠点稼働を開始

統計速報

統計全体のあらまし 85

複写機統計 (生産/受入の内訳/販売/月末在庫) 86

プリンタ統計 (生産) 90

事務用機器輸出統計 91
(ネットワーク対応 MFP/単機能機、ネットワーク非対応 MFP/単機能機)

事務用機器輸入統計 96
(ネットワーク対応 MFP/単機能機、ネットワーク非対応 MFP/単機能機)

月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から発刊している、電子写真に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、普通紙FAX等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の市場動向、海外への進出情報、量販店情報、ユーザー調査等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会員様は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥700,000(消費税別) 月会費 ¥60,000(消費税別)

英文版 \$7,000

2014年11月号からスタート

	特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)
2021.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を特集。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェットヘッドの外販市場の最新動向を特集。
2020.12	・全世界における複写機・プリンタの稼働台数(MIF)推移:各社の複写機やプリンタの出荷台数と、それらがどの程度市場に滞留しているかを示す「市場残存率」をベースに、各社のMIFを算出。このMIF市場とトナー出荷量の情報を合わせて分析。
2020.11	・ソリューションビジネスの現状:複合機・プリンタメーカー各社のソリューションビジネスの現状を取り上げた。ソリューションビジネスの方向性を把握し、ビジネスへの影響を推し量ることが、各社のパフォーマンスを占う上で重要な要素となると思われる。
2020.10	・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大が大きな影響を与えた、トナー市場の現状と今後を考察する。
2020.9	・複写機・プリンタ業界のOEM&提携関係と今後の業界再編:ポストコロナ時代に向けて大きく変化しつつある各社のOEM&提携戦略の現状を概観しつつ、各社が業界再編においてどのように参加していくかを、弊社独自の視点でまとめた。
2020.8	・APPPEXPO 2020:7月に中国・上海市の国家会展中心において開催された第28回上海国際広告技術設備展覧会(通称APPPEXPO)。サイン印刷市場の概要と同展示会に出展された大判インクジェットプリンタメーカーの展示についてレポート。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2020年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概括。
2020.7	・プロダクションプリンタ市場:プロダクションプリンタの出荷現状と、特色ある機種、トナー量などに焦点をあててレポート。 ・欧州における酸化チタン規制と各社の対応:欧州における酸化チタン規制の概要と主要トナーメーカーの最新対応状況を報告。
2020.6	・欧州におけるハードウェア市場動向:複写機・プリンタの一大マーケットである欧州におけるハードウェア市場動向を概説。欧州全体の最新市場動向やコロナショックによる最新予測シナリオ、主要国におけるメーカーシェアなども取り上げた。 ・決算:定複写機・プリンタメーカーの2019年度(キヤノンのみ2019年12月期)決算を概括。
2020.5	・定着器用部材(ローラー・ベルト)の最新市場動向:定着器用部材の最新市場動向と最新トレンドを概観。
2020.4	・感光体市場:全世界の感光体生産量の推移をまとめ、日本メーカーの生産状況を海外メーカーと比較しながら概観。また、日本メーカーの動向も各社ごとにまとめた。
2020.3	・新型コロナウイルスの事務機業界への影響:事務機業界における中国への生産依存度や中国部材の依存度、また全世界の販売分布などを弊社の各レポートから報告。
2020.2	・全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:MFP(複写機・複合機)の最新出荷動向を取り上げた。全世界の出荷動向、カラー化の進展状況、A4MFP(複写機・複合機)の出荷状況、最新動向などを概略。
2020.1	・中国市場:中国の最新市場動向に加え、中国現地メーカーの概要、また日本メーカーと中国メーカーの提携関係などを概説。
2019.12	・ラベルエキスポヨーロッパ2019:9月24日(火)から27日(金)までの4日間、ベルギーのブリュッセルにおいて開催された、同展示会に出展された主要メーカーの展示動向をレポート。
2019.11	・Remax2019:中国広東省珠海市で開催された「RemaxWorld Expo 2019」(開催日:2019年10月17日から19日)をレポート。
2019.10	・トナー市場:電子写真ビジネスにおける利益の源泉であるトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・OGBS2019:イベントに出展されたインクジェット方式のデジタル印刷機を中心に、各メーカーの出展状況をレポート。
2019.9	・ITMA2019にみるデジタルテキスタイル印刷市場の現状:デジタルテキスタイル印刷市場の最新市場動向を概観しつつ、ITMAに出展された主要メーカーの注目機種をレポート。 ・トナー市場(速報):8月27日に発刊した【2019年版トナーマーケット総覧】より、「全世界のトナー生産量推移」と「OEM市場/サードパーティ市場別の生産量推移」を速報形式で取り上げた。
2019.8	・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。
2019.7	・ラベルフォーラムジャパン2019:同イベントに出展された電子写真及びインクジェット方式のデジタルラベル印刷機の最新機種を取り上げつつ、各メーカーの販売状況をレポート。
2019.6	・複写機・プリンタメーカーの生産拠点最新動向:ハードメーカー各社のMFPやプリンタの最新生産拠点動向と、米中の追加関税問題への対応策について概括。
2019.5	・決算:複写機・プリンタメーカー並びに関連企業が発表した2018年度(キヤノン、サカタインクス、住友ゴム工業のみ2018年12月期)の決算を概括。
2019.4	・感光体市場:全世界の感光体生産量の推移をまとめ、日本メーカーの生産状況を海外メーカーと比較しながら概観。海外では、中国メーカーの動向に着目。
2019.3	・トナー用レジンの最新市場動向:過去20年におけるトナー用レジンの生産動向を振り返りつつ、日本メーカーを中心に各社の最新動向を概観。
2019.2	・中間転写ベルトの最新市場動向:材料や用途など様々な切り口による出荷動向の分析に加え、ハードウェアメーカー別のベルト採用状況などもまとめた。
2019.1	・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:中国メーカーによる業界参入の本格化など、今後の世界市場動向について分析。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

（刊行日・価格の変更があります）

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03（3831）9201、FAX：03（3831）9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2021年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数	金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日		
《 定期刊行物 》						
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年
《 2021年刊行予定物 》						
* 2021年版[感光体マーケット総覧] 『戦略転換が求められる感光体業界の試練』	¥500,000	2/25 予定	\$5,200	4/26 予定	日 英	
ニューレポート *2021年版 『出力機器関連機材ハンドブック』	¥200,000	3/24 予定	—	—		
* 2021年版[ローラー系部品マーケット総覧]	¥400,000	4/22 予定	\$4,000	注文対応	日 英	
* 2021年版[トナーマーケット総覧]	¥600,000	6/25 予定	\$6,000	8/24 予定	日 英	
* 2021年版[MIF マーケット総覧]	¥400,000	8/26 予定	\$4,000	注文対応	日 英	
* 2021年版[インクジェット印刷マーケット総覧]	¥500,000	10/26 予定	\$5,000	12/15 予定	日 英	
* 2021年版[MFP マーケット総覧]（フルレポート） 総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/22 予定	— —	—		
《 2020年刊行物 》						
* 2020年版[感光体マーケット総覧]（292頁） 『新たな中国市場戦略が求められる感光体業界のゆくえ』	¥500,000	2/26	\$5,200	4/17	日 英	
* 2020年版緊急レポート（コロナショックと業界大規模再編） 『業界再編とコロナショックに揺れる事務機業界の地域別メーカー別分析』（240頁）	¥300,000	4/24	\$3,000	6/19	日 英	
* 2020年版[ローラー系部品マーケット総覧]（651頁） 『要素技術で生き残る部品業界の行方』	¥400,000	5/26	\$4,000	11/25	日 英	
* 2020年版[トナーマーケット総覧]（582頁） 『事務機の中核を占めるトナー事業の将来性』	¥600,000	7/28	\$6,000	10/23	日 英	
（新レポート）* 2020年版[MIF マーケット総覧]（501頁） 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	9/28	\$4,000	12/23	日 英	
* 2020年版[インクジェット印刷マーケット総覧]（366頁） 『ポストコロナ時代に市場拡大が期待される産業用インクジェット業界の最新動向』	¥500,000	11/26	\$5,000	2021.2/26 予定	日 英	
* 2020年版[MFP マーケット総覧]（フルレポート）（626頁） 『新日常社会へ挑戦する事務機業界の底力』 総合分析編・PPC市場編／プリンタ・プロダクションプリンタ市場編	¥600,000 各¥350,000	12/23	— —	—		
《 その他の刊行物 》						
* 2014年版[企業便覧シリーズ]（128頁） 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英	
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編（810頁）、写真データ（535頁） 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—		